

# 誰かの花

Somebody's Flowers

脚本・監督 奥田裕介

悲劇と救い  
誰かの想いと、

横浜シネマ・ジャック＆ペティ 30周年企画映画

誰かの花 | 監督：奥田裕介 | 2021年 | 日本 | 115分 | 5.1ch | アメリカンビスタ

出演：カトウシンスケ / 吉行和子 / 高橋長英 / 和田光沙 / 村上穂乃佳 / 篠原篤 / 太田琉星

撮影：野口高遠 | 照明：高橋清隆 | 録音：高島良太 | 衣装：大友良介 | ヘアメイク：ayadonald / 大久保里奈

制作：佐直輝尚 | 助監督：松村慎也 / 小林尚希 / 高野悟志 | 音楽：伴正人 | 整音：東遼太郎

エクゼクティブプロデューサー：大石暢 / 加藤敦史 / 村岡高幸 / 梶原俊幸 | プロデューサー：飯塚冬酒

製作：横浜シネマ・ジャック＆ペティ 30周年企画映画製作委員会 | 宣伝・配給：GACHINKO Film



GACHINKO Film  
INDEPENDENT FILMS CHANGE THE WORLD

# 誰かの花

Somebody's Flowers

脚本・監督 奥田裕介



カトウシンスケ 吉行和子 高橋長英  
和田光沙 村上穂乃佳 篠原篤 太田琉星  
大石吾朗 テイ龍進 渡辺梓 加藤満 崎岡萌希 富岡英里子 堀春菜 笠松七海

## 忘れない過去と隠したい今が交差する。

### STORY

鉄工所で働く孝秋は、薄れゆく記憶の中で徘徊する父・忠義とそんな父に振り回される母・マチのことが気がかりで、実家の団地を訪れる。しかし忠義は、数年前に死んだ孝秋の兄と区別がつかないのか、彼を見てもただほんやりと頷くだけであった。強風吹き荒れるある日、事故が起こる。団地のベランダから落ちた植木鉢が住民に直撃し、救急車やパトカーが駆けつける騒動となったのだ。父の安否を心配して慌てた孝秋であったが、忠義は何事もなかったかのように自宅にいた。だがベランダの窓は開き、忠義の手袋には土が…。一転して父への疑いを募らせていく孝秋。「誰かの花」をめぐり繰り広げられる偽りと真実の数々。それらが亡き兄の記憶と交差した時、孝秋が見つけたひとつの〈答え〉とは。

### INTRODUCTION

横浜シネマ・ジャック&ベティは横浜黄金町で30年営業を続ける2スクリーンの老舗の映画館である。映画愛あふれるセレクトによる作品上映は地元のみならず県外にも多くのファンを持つ。そして映画界の重鎮の映画監督・俳優は元より若手映画監督からも愛される映画館。

本作は、2021年に30周年を迎えるジャック&ベティの企画作品としてつくられた。

### DIRECTOR

奥田裕介 / 1986年生、神奈川県出身。日本映画学校(現・日本映画大学)で映画制作を学ぶ。

映画やドラマの現場で演出部や制作部を経験。

ドキュメンタリー映画の構成、ミュージックビデオの脚本・監督、舞台でも脚本提供や作・演出など多岐にわたり活動。本作が劇場公開作品第2作目となる。

### CAST

カトウシンスケ(『ケンとカズ』小路紘史監督)をはじめ、吉行和子(『東京家族』山田洋次監督)、高橋長英(『それでもボクはやってない』周防正行監督)の他、和田光沙、テイ龍進、篠原篤など実力派俳優、若手俳優・村上穂乃佳、横浜に縁の深い大石吾朗、渡辺梓、崎岡萌希、堀春菜、笠松七海らがジャック&ベティ30周年映画に集結した。本格的な映画出演がはじめての子役・太田琉星は素晴らしい演技力をみせている。

### PRODUCTION

本作の企画から製作委員会・宣伝・配給を手掛けているガチンコ・フィルムは、ジャック&ベティで毎年開催されるインディペンデント映画祭のサポートも行う映画製作・配給プロダクション。本作の監督・奥田裕介のほか、若手の映画監督が所属している。



エクゼクティブプロデューサー：大石鶴／加藤敦史／村岡高幸／梶原俊幸／プロデューサー：飯塚冬酒

製作：横浜シネマ・ジャック&ベティ30周年企画映画製作委員会(エデュイットジャパン／加藤組鉄工所／本間興業／タヒチプロモーション／カスタネット)

横浜から生まれた、家族の物語。全国順次公開。

シネマ  
横浜ジャック&ベティ

神奈川県横浜市中区若葉町3-51  
TEL. 045-243-9800 <https://www.jackandbetty.net>

先行上映 12月18日(土)～24日(金)

2022年 1月29日(土)～

ユーロスペース  
EUROSPACE

東京都渋谷区円山町1-5 KINOHaus 3F

2022年 1月29日(土)～